



AICJ NEWSLETTER

2024
Feb.

AICJ中学・高等学校 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目1-15 TEL:082-832-5037

本校は、2009年に西日本第1号の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

5年連続 全日本高校女子サッカー選手権 出場★ベスト8進出



第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会が兵庫県で開催されました。出場は、5年連続となります。これまで2年連続でベスト8で涙を吞んでいたため、なんとか次のステージへとコマを進めるために奮闘しましたが、今回も準々決勝で惜しくも敗れました。高3生にとっては最後の大会となりましたが、後輩たちは、また新たに日本一へのストーリーを引き続き紡いでいってくれるはずです。

《全国大会 戦績》

1回戦	VS	東海大附属福岡高校（福岡）	1-0
2回戦	VS	日ノ本学園高校（兵庫）	3-1
準々決勝	VS	大阪学芸高校（大阪）	0-2



大阪学芸戦前にエンジンを組むイレブン



《主将：打田 もえさんのコメント》

準決勝のノエビアスタジアムの舞台を踏むことができなかったのは残念ですが、今年もベスト8まではコマを進めることができました。この3年間を通して、ご支援頂いた皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。日本一は後輩たちへ託します。

日ノ本戦

東海大附属福岡戦



広島県主催★青少年交流事業★メキシコ グアナファト州へ

県の友好交流事業の一環として友好提携をしている、メキシコ・グアナファト州へ本校の生徒が派遣されました。



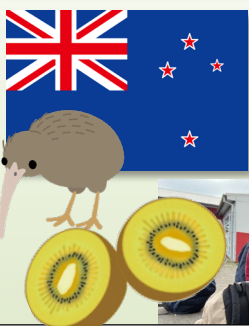
《沖本 晃朔くん（高1）の感想》

現地では県の高校生を代表して、州政府表敬訪問や文化交流などを行いました。また、帰国してからは、湯崎知事に帰国報告を行いました。現地の方の愛国心の強さと自国の歴史への向き合い方に感銘を受け、同じく特別な歴史的価値を持つ自分の住んでいる広島という街が何を世界に発信していくべきなのかを考えさせられる機会にもなりました。やはり海外での学びは視野を広げてくれると改めて感じさせてもらう経験となりました。



街並み

4名が4週間の現地校体験プログラム参加★ in NZ or 豪州



現地校の友達・ホストファミリーと

高校生がNZ(1名)とオーストラリア(3名)へ現地校体験をして来ました。

《NZの現地校を体験した楠 向日葵さん（高1）の感想》

現地の人々はとても優しく、いつも笑顔で接してくれました。私はこの研修を通し、素直に自分の気持ちを相手に伝えることの大切さを学びました。以前の自分には欠けていた部分だと実感しました。そして、支えてもらったり、協力してもらうには、まず、自分の心を開くことが重要だと思いました。ホームシックで悩んだ時も、支えてくれたのは、ホストファミリー、そして友達でした。本当の素直な気持ちをみんなに伝えたからだと思います。

《全国で7校》朝日新聞主催★プロフェッサー・ビジット開催



慶應義塾大学
商学部 教授
遠藤正寛先生



全国で7校の内の1校として本校が選ばれ、プロフェッサービジットが開催されました。中3～高2の生徒が先生の講義を聞きました。講義テーマは「国際・域際貿易と地域経済」でした。生徒たちは、高校と大学で求められるものの違いを肌で感じたようです。質疑応答の時間には、次から次へと質問が飛び、そのまま時間切れとなってしまいました。ご講演ありがとうございました。



質疑応答の様子



《プロフェッサー・ビジットとは?》

大学の先生が、全国各地の高校を訪問し、研究内容などをわかりやすく紹介する出張講義です。講義時間は75～90分程度が基本です。本校は、過去にも2017年に横浜市立大学から田栗先生にお越しいただき、データサイエンスについてご講義いただいていますので、今回が2回目の開催となりました。



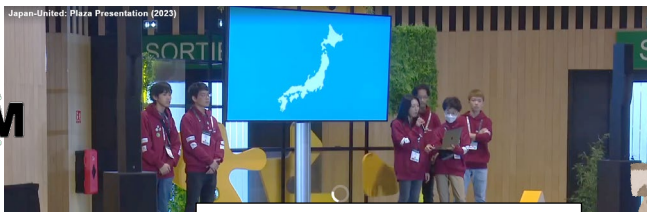
iGEM Grand Jamboree 2023 in Parisで日本初の大賞受賞

「Japan-United」という23名の高校生からなるチームが、Grand Prize（大賞）という世界最高の栄誉を手に入れました。20回目を数える世界大会で、日本のチームの受賞は、大学・大学院生を含めても初受賞となります。本校の内藤煌瑛くん（高1）と土井瞭くん（高3）がそのメンバーとしてこれまで研究に関わってきました。彼らの研究は、Saffrocure: Innovative Approaches to Depression Treatment（うつ病治療の革新的アプローチ）というものです。



《iGEM(アイジェム)とは?》

The International Genetically Engineered Machine competitionとして、毎年秋に開催され、学生（大学生、大学院生、高校生）が参加する世界最大の合成生物学の大会です。今年は、66カ国から、400のチーム、4300のプロジェクトが参加してフランスのパリで行われました。



プレゼンテーションの様子

《研究チームの紹介》

国内では、「CrimsonNinjas jp」というチーム名で、すでに研究テーマ「抗うつ成分を合成する大腸菌の作製」で第7回高校生科学教育大賞優秀賞を受賞しています。最初は高校生2名のTwitterでの呼びかけで立ち上げられたチームです。生物や化学だけでなく情報や人文学系など、様々な背景や得意分野を持つ22校の高校生23名とアドバイザー4名がメンバーとなっています。



本校の内藤くん（左）と土井くん

第25回全国高校生作文コンクール2023★後藤新平賞受賞

《コンクールの紹介》

今年で25回目を数える拓殖大学主催の作文コンクールです。明治から大正にかけて日本が国際社会に登場していく上で重要な足跡を残した第三代学長・後藤新平、第二代学監・新渡戸稲造の精神を受け継ぎ、「国際協力」「国際理解」「社会貢献」の重要性を広く伝え、グローバルに活躍できる人材の育成を目的としています。



作品はこちらからご覧いただけます⇒



本校の高3清水野乃子さんが全国高校生の1,739点の応募の中から、最優秀賞である「後藤新平賞」を受賞しました。今回のテーマは「住み続けられるまちづくり」でした。彼女は、「ご近所さんの力」と題して作文を書きました。



表彰式では彼女のビデオメッセージが流れました。



《2023年11月実施 国際バカロレア(IB)DP 世界共通最終試験 結果》

- ・AIC IBディプロマコース12名合格・学内平均スコア32.75点（世界平均スコア29.06点）
- ・学内最高点40点（45点満点）

